

厳しい情勢の中での警衛・警護警備

1 昭和三〇年代

◎第一八回オリンピック（東京大会）に伴う警備

アジア初のオリンピックとなった東京大会は、昭和三九年一〇月一〇日、国立競技場において、九四か国、六、五五〇人の選手・役員が参加し、天皇后両陛下、国内外の要人等多数を迎え、史上最大といわれた規模で開催されました。

本警備に伴い、警察庁ではオリンピック東京大会対策本部を、関係都道府県警察では、それぞれ警備本部を設置して、警衛・警護警備を実施しました。

2 昭和四〇年代

◎日本万国博覧会に伴う警備

日本万国博覧会は、激動する安保の年であった昭和四五年三月一四日から九月一三日までの一八四日間の長期にわたり、大阪府吹

田市において開催され、七七か国、総入場者数六、四二万人余という万国博覧会史上最高の記録を残しました。国内外合わせて一九の展示館では、連日各種の催物が行われ、多数の観客が詰め掛け混雑を極めました。

本警備に伴い、大阪府警察では、全国警察から特別派遣を受けて、内外要人の警衛・警護警備、雑踏警備等を実施しました。

3 昭和五〇年代

◎第五回主要国首脳会議に伴う警備

我が国における初の主要国首脳会議（東京サミット）は、昭和五四年六月二八日、二九日の両日、東京・迎賓館において、カーター・米大統領を始め主要国首脳等の参加を得て開催されました。

同会議の開催に際して、過激派が集会、デモ等の反対行動に取り組んだほか、一部右翼が批判街宣等を展開しました。

本警備に伴い、警察庁では警備対策委員会を設置し、警視庁では特別派遣を含む約二万

六、〇〇〇人の体制で警護警備を実施しました。

4 昭和六〇年代

◎第一二回主要国首脳会議に伴う警備

第一二回主要国首脳会議（東京サミット）は、昭和六一年五月四日から同月六日までの三日間、東京・迎賓館において、レーガン・米大統領を始め主要国首脳等の参加を得て開催されました。

同会議の開催に際して、過激派が集会、デモ等の反対行動に取り組んだほか、一部右翼が批判街宣等を展開しました。

本警備に伴い、警察庁では警備対策委員会を設置し、警視庁では特別派遣を含む約三万人の体制で警護警備を実施しました。



主要国首脳会議に伴うデモ警備
(昭和61年、東京)

5 平成元年以降

一 昭和天皇崩御に伴う警備

昭和六四年一月七日、昭和天皇の崩御に伴い、平成元年二月二四日に執り行われた大喪の礼には、各国の元首、弔問使節及び国内要人等約一万人が参列しました。



即位の礼に伴う警備
(平成2年、東京)

また、即位の礼・大嘗祭は、二年一月二三日から約一年にわたって挙行され、一月一二日の「即位礼正殿の儀」には、一五八か国、国連及びE.Cの元首、祝賀使節、国内要人等約二、二〇〇人が参列しました。

本警備に伴い、警察庁では警備警護警備対策委員会を設置したほか、警視庁では全国警察から特別派遣を受けて、大喪の礼に際しては約三万二、〇〇〇人、即位の礼に際しては約三万七、〇〇〇人の体制で警備・警護警備を実施しました。

二 第一九回主要国首脳会議に伴う警備

第一九回主要国首脳会議（東京サミット）は、平成五年七月七日から九日までの三日間、東京・迎賓館において開催され、九日には、エリツイン・ロシア大統領を招待して、いわゆるG7+1会合が行われました。

同会議の開催に際して、過激派が、集会、デモ等の反対行動に取り組んだほか、一部右翼が批判街宣等を展開しました。

本警備に伴い、警察庁では警備対策委員会を設置して諸対策を推進し各国首脳等の安全と諸行事の円滑な進行の確保に努めました。

三 第一八回冬季オリンピック（長野大会）に伴う警備

長野オリンピック冬季競技大会は、平成一〇年二月七日から同月二二日までの一六日間、また、長野パラリンピック冬季競技大会は、三月五日から同月一四日までの一〇日間 にわたり、長野市等において開催されました。

過去のオリンピックでは、しばしば国際テロ等の重大事件が発生しており、テロの発生が懸念される極めて厳しい情勢下での開催となりました。

本警備に伴い、長野県警察では、全国警察から特別派遣を受けて、オリンピックに際しては約六、〇〇〇人、パラリンピックは約三、二〇〇人の体制で警備・警護警備を実施しました。

〇人の体制で警備・警護警備を実施しました。

四 第二六回主要国首脳会議に伴う警備

第二六回主要国首脳会議（九州・沖縄サミット）は、我が国初めての地方・分離開催となり、福岡蔵相会合、宮崎外相会合の後、平成一二年七月二日から同月二三日までの三日間、沖縄において開催されました。

同会議の開催に際して、過激派が集会、デモ等の反対行動に取り組んだほか、一部右翼が批判街宣等を展開しました。

本警備に伴い、沖縄県警察では特別派遣を含む約二万二、〇〇〇人、福岡、宮崎両県警察では、それぞれ約五、〇〇〇人の体制で警護警備を実施しました。

五 ワールドカップサッカー大会に伴う警備

二〇〇二年ワールドカップサッカー大会は、平成一四年五月三二日から六月三〇日までの間、日韓両国で開催され、国内では、一〇会場で計三二試合が行われました。

本大会は、海外から多数の観客の来日、フーリガンの入国が予想され、また、「米国における同時多発テロ事件」の発生以降テロ情勢は極めて厳しく十分な警戒を要しました。

本警備に伴い、警察庁では、韓国や関係省庁との連携強化に努めたほか、全国警察を挙げて、警備対策、交通対策を推進しました。